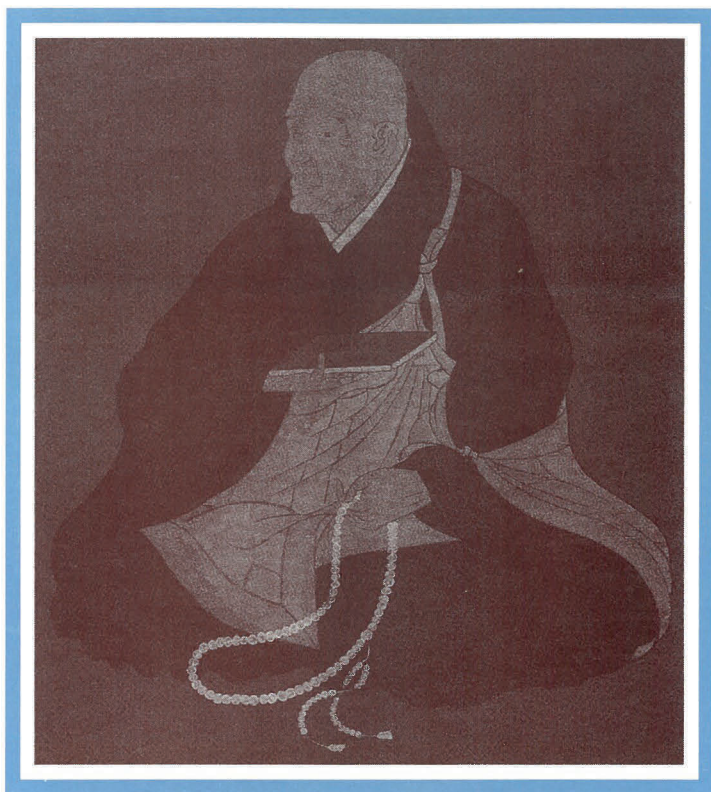


生活体験のにじみ出た述懐歌にすぐれた歌僧西行についての、
近代における伝記、和歌の代表的研究書とともに、『増補山家集抄』も復刻。



西行研究 資料集成

全10巻／西澤 美仁 監修・解説

クレス出版

上智大学
西澤 美 仁

西行研究の「現代」はどのように形成されたか。本企画は、その夜明け前に書かれた「近代」的研究を十冊に編集して、あらためてその「現代」性を問い直す機会にしたいと思った。

近代国文学の基礎を築いた藤岡作太郎は、『異本山家集』(一九〇六)に附録する「西行論」の中で、西行研究の二本柱を「伝記」と「作品」とに見定め、「歴史伝説の如きはさもあらばあれ」とこれを切り捨てた。後代の作品である『撰集抄』『西行物語』によって、西行の「伝記」を語る事が不可能なのは今ではまったくの常識に他ならないが、ここで「伝説」を切り捨てたことが、のちのちの西行研究に大きな代償を要求することになる。

目崎徳衛『西行』(人物叢書、一九八〇)は、前々年に完成した『西行の思想的研究』(一九七八)とともに、西行の「伝記」研究の現代的水準を示すものと思われるが、その冒頭の「富士見西行」の章に、真の伝記研究には「伝記的事実の究明」「数々の絶唱の鑑賞」「西行伝説の追求」の「三位一体の構成が要求される」とした。藤岡以後の西行研究は「第二の主題」に領域を限定しすぎた、と批判する目崎の見解の背後には、「第三の主題」がすでに切り捨てられ、いままた自分も見切らねばならない無念さが漂っている。以前あれだけ日本の各地に根付いていた西行伝説は、日本文化の現代化の波に洗い落とされる典型的な一例となってしまう。

大学の国文学科に所属する私も、国文学の危機は日本文化そのものの危機だ、と認識する一人である。いろいろなことを考えるべき時に来ているのであろうが、その原点から考察し直すのに、「西行」は格好の材料を提供しているように思う。

まずは、『異本山家集』の前年に書かれた、梅澤和軒『西行法師伝』(一九〇五)から読み比べたい。江戸期までの「西行」を集大成し、以後の文学にも多大の影響があった和軒の方が、むしろより豊饒な世界を導いていたのではなかったか。和軒による翻刻『山家集詳解』とその原書である固浄『増補山家集抄』も同時対照できるように復刻した。明治以前唯一の山家集注釈である後者は、二百年ぶりの再刊となる。また、大正から昭和にかけて、尾崎久弥・尾山篤二郎・窪田空穂が次々に公表した西行和歌評釈、さらには尾山・川田順・風巻景次郎が描き続けた西行評伝を復刻した。前者は「数々の絶唱の鑑賞」、後者は「伝記的事実の究明」という形式で西行を追求し、いずれもすでに定評がある。ここにはどんな文化的危機への自覚があり、突破口があるのか、見つけ出すのはあなたである。

全巻構成

- 第1巻 増補 山家集抄
積 固浄/寛政7年
- 第2巻 山家集詳解
梅澤 和軒/明治44年/武蔵屋書店
- 第3巻 西行法師伝
梅澤 和軒/明治38年/日進堂書店
- 第4巻 異本山家集 附録西行論
藤岡作太郎/明治39年/本郷書院
- 第5巻 類聚 西行上人歌集新釈
尾崎 久弥/大正12年/修文館
- 第6巻 西行法師名歌評釈
尾山篤二郎/昭和10年/非凡閣
- 第7巻 西行法師
窪田 空穂/昭和13年/厚生閣
- 第8巻 西行法師評伝
尾山篤二郎/昭和9年/改造社
- 第9巻 西 行
川田 順/昭和14年/創元社
西行研究録
川田 順/昭和15年/創元社
西行の伝と歌
川田 順/昭和19年/創元社
- 第10巻 西 行
風巻景次郎/昭和22年/建設社

白ききて 〇△
 秋古今亦早稲入一宮川
 介合六番の持舟人と世
 人又ハ恋てぬ人ホモと云々
 と教を惜しむる秋の初風を
 んる人一其自方を福世あ
 して抱きぬる人ハ恋てぬ
 秋とぬと初風の昔またぬ
 抱きとて心を付る風と云
 る人ハ恋てぬ人ホモと云
 ころ七月はあつと云々
 〇△
 白ききて 〇△
 秋古今亦早稲入一宮川
 介合六番の持舟人と世
 人又ハ恋てぬ人ホモと云々
 と教を惜しむる秋の初風を
 んる人一其自方を福世あ
 して抱きぬる人ハ恋てぬ
 秋とぬと初風の昔またぬ
 抱きとて心を付る風と云
 る人ハ恋てぬ人ホモと云
 ころ七月はあつと云々

第3巻 西行法師伝

第七章 西行の和歌

第一節 歌人としての西行

吾人は西行の人格を論ずるに當りて武人としての西行が沈毅の人なるを見たり又法師としての西行は文覺をも打たんずる者眼中六十餘州の總追捕使なき豪膽者解脱者なると同時に拾はゞ落ちんとする玉笹の雲の如く多感多涙の修行者辱忍の美德を有せる上人なるを見たり然らば歌人としての西行は如何。

彼は人丸の再生なりき人或は西行が非重代の身にて詠み口一世に傑出せる家隆を優として其の二巻の歌合を附屬せることを以て西行が鑑識を賞揚すれども慧眼なる先輩が後進の天才を看破するは尋常事にして敢て怪むに足らざるなりかくの如きは未だ以て西行を軽重するに足らず彼が生得の歌人なるは天下の通評なりき後鳥羽院も

(上略) 俊頼が後には釋阿西行俊惠なり姿殊にあらぬ體なり(中略) 西行

第6巻 西行法師名歌評釈

としを経て待つも惜しむも山櫻花に心をつ
くすなりけり 山家上、異木追加、續拾遺二、宮川六

山家集には第二句「待ちもをらむと」第四句「心を春は」になつてゐるが、今續拾遺・宮川歌合等に依ることにした。年を経ては年々歳々の由。待つも惜むもは花の咲くのを待つ心持も、またその花散り過ぐるを惜しむ情も、等しく山櫻の花に傾倒するが故である由。定家は心深く詞やすらかに云ひ下されてゐると評してゐるが、安らかに詞は云ひ下されてゐるが心深くはどうであらうか。事實はただこれだけの事であつたにせよ、何處か花に托して別の心を述べてゐるやうな調子があるので、心深かくと取つたのである。

花を待つ心こそなほ昔なれ春にはうとく
りにし物を 異本、玉葉十四、宮川六

なほ昔なればまだ普通通りである由。即ち陽氣な春といふ季節を年と共に段々疎んずるやうになつたが、それでも花の咲くのを待つ心はまだ昔の通りである、といふのである。

西澤 美仁 監修・解説

西行研究資料集成 全10巻

● A5判／上製函入／クロス装

本文クリーム中性紙

● 揃定価九四、〇〇〇円

● 平成一四年一〇月刊行

● ISBN4-87733-159-X



● クレス出版 好評既刊書

西鶴研究

全4巻 西鶴学会編 竹野静雄解説
西鶴文学を、文学は勿論、言語・文化・風俗・経済その他あらゆる部門より究明せんとする純学術研究機関雑誌全一四冊を復刻。

揃定価九五、〇〇〇円(分売可)

西鶴研究資料集成

全8巻 竹野静雄監修・解題
江戸時代の浮世草子作者・俳諧師井原西鶴の没後三百年を記念して、明治大正、昭和初期に発表された資料約四七〇点を纏めて刊行。

揃定価一二六、〇〇〇円

芭蕉研究資料集成

昭和前期篇全19巻 久富哲雄監修・解題
俳諧の世界のみならず、日本文学全体に多大な影響をおよぼした芭蕉の没後三百年を記念して、人物・作品の価値ある研究書を集成。

揃定価二七五、〇〇〇円

芭蕉研究論稿集成

全5巻 久富哲雄監修
明治大正、昭和前期に雑誌に発表された芭蕉研究に関する論稿を、特集号はそのままに、その他を主題別に分類して収録。揃定価八〇、〇〇〇円

蕪村研究資料集成

全17巻 久富哲雄・谷地快一監修・解題
日本・中国を問わず、古典に親しみ、俳諧に絵画に、自在なる境地を志向した蕪村の明治・大正期に刊行された基礎的研究資料を集成。

揃定価一八六、〇〇〇円

若月保治浄瑠璃著作集

全7巻 秋本鈴史・和田修・林久美子・坂口弘之解説
浄瑠璃研究の第一人者若月保治の代表作を復刻。
① 近松人形浄瑠璃の研究 定価二二、〇〇〇円
② 人形浄瑠璃史研究 定価二五、〇〇〇円
③ 近世初期国劇の研究 定価一三、〇〇〇円
④ 古浄瑠璃の研究 全四巻揃定価九五、〇〇〇円

近世文芸研究叢書

全63巻 近世文芸研究叢書刊行会編・解説
近世文学・芸能に関する明治大正に刊行された名著稀書を復刊。

- 第一期文学篇全23巻 揃定価二九一、〇〇〇円
- 1、通史 全7巻 揃定価八〇、〇〇〇円
- 2、一般 全7巻 揃定価九六、〇〇〇円
- 3、作家 全9巻 揃定価一一五、〇〇〇円
- 第二期芸能篇全40巻 揃定価五五八、〇〇〇円
- 1、歌舞伎Ⅰ 全10巻 揃定価一三五、〇〇〇円
- 2、歌舞伎Ⅱ 全10巻 揃定価一三八、〇〇〇円
- 3、浄瑠璃 全10巻 揃定価一四五、〇〇〇円
- 4、舞踊・邦楽・諸芸・雑纂 全10巻 揃定価一四〇、〇〇〇円

徳川三百年人物大鑑

全5巻 長田偶得編
徳川三百年間に於ける思想界に勢力のあった碩学鴻儒、文学者美術工芸家名僧、義人烈士等七十二名の伝記集。年譜・肖像画付。揃定価七六、〇〇〇円

俚言集覧 自筆稿本版

全11巻 太田全斎編 ことわざ研究会監修・解題
江戸時代の代表的な三大国語辞書の一つ『俚言集覧』の唯一の稿本を『移山伊呂波集』とともに復刻。活字本にはない凶像や刺記、書き込み等も多し。揃定価一五〇、〇〇〇円

源氏物語研究叢書

全17巻 日向一雅監修・解題
明治から昭和二十年代までを中心として、源氏物語の主要な研究書を網羅。近代における研究史を顧みること、細分化し多様化した研究を統合。揃定価一七五、〇〇〇円

物語文学研究叢書

全26巻 神野藤昭夫監修・解題
明治から昭和三十年代までに刊行された、今後の物語研究に資する著作を、個々の物語を扱ったものと物語を広く扱ったものと別けて刊行。揃定価二二七、〇〇〇円



株式会社 クレス出版

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メロウナ日本橋
☎03(3808)1821 ☎03(3808)1822 <http://www.kress-jp.com/>